

【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号 ◆D-19-1-2

事業名 我孫子市市街地液状化対策事業  
(再液状化対策オープンスペース等整備工事)

事業費 7,851 千円 (国費 6,280 千円)

事業期間 平成 27 年度

事業目的

市街地液状化対策事業は、住民の意向を踏まえ実施しないこととなったため、事業区域内に再度災害時の減災に役立つオープンスペース等の整備を行う。

- ・ オープンスペースの整備：再液状化による災害が発生した際に、道路に立往生した車両の退避場所、緊急支援物資の一次集積場所、搬入車両の駐車場所としてのオープンスペースをふさ復興会館に隣接した土地に一体的に整備する。
- ・ 再液状化対策啓発掲示板の設置：液状化対策事業計画の策定に向けた調査・検討で得た知識や情報を基に、当該計画区域における再液状化について周知を行い住民の自発的な減災意識を啓発するとともに、液状化対策の必要性を後世に伝えることを目的とした啓発資料掲示板を設置する。

事業地区

我孫子市布佐東部地区 (12.5ha)

事業結果

○再液状化対策オープンスペース等整備工事費用：7,851 千円 (国費：6,280 千円)

- ・ オープンスペース等の整備  
(舗装工事 面積=462 m<sup>2</sup>、フェンス延長=32.4m、排水工事一式)
- ・ 再液状化対策啓発掲示板  
(幅 1.2m×高さ 1.8m)



## 事業の実績に関する評価

### ①事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価

- ・再度災害時には再液状化による被害が発生する可能性がある被災区域に、地域の防災意識を高める啓発掲示板と給水活動や救援活動を行うことができるオープンスペースを整備した効果は高いと考える。

### ②コストに関する調査・分析・評価

- ・被災区域において救援活動を行う際に必要となる車両台数などを精査して、事業に必要な面積等を決定したことから本事業の事業費は妥当であると考ええる。

### ③事業手法に関する調査・分析・評価

- ・整備を行う場所を市が整備する地域コミュニティ再生施設の駐車場部分としたことで、平時においてもオープンスペースを有効に活用できることから、事業手法については妥当であると考ええる。

○復興交付金事業計画の有用性、経済性や復興交付金事業の実施にあたり改善が可能であった点

- ・特になし

事業担当部局

都市部地域整備課布佐東部地区復興対策室 電話番号：04-7185-2462